

弘前大学・三重大学・島根大学

2025 年度 三大学シンポジウム in 三重

地域の生活構造の変容から考える地域創生
～人文社会科学の批判的かつ建設的視点～

プログラム

12:30 開場

13:00 開会

挨拶：三重大学理事 金子 聡（研究・社会連携／グローバル化担当）

13:15 第1部 三大学からの研究活動報告と話題提供

・弘前大学人文社会科学部 教授 李 永俊

演題：地域未来創生センターの挑戦：

人口減少とウェルビーイングに向き合う研究と社会実装

・三重大学人文学部 教授 安食 和宏

演題：世界遺産・熊野古道と三重県東紀州地域の関係性について

・島根大学法文学部 准教授 藤本 晴久

演題：地方・農山村における経済構造の変容と資源循環型産業の展開

——課題に直面する地域の適応プロセスと可能性——

15:15 第2部 シンポジウム～地域創生と人文社会科学の役割～

司 会 三重大学人文学部 学部長 豊福 裕二 教授
シンポジスト

弘前大学人文社会科学部 学部長 飯島 裕胤 教授

島根大学法文学部 学部長 浅田 健太郎 教授

三重大学人文学部 安食 和宏 教授

伊賀市 市長 稲森 稔尚 氏

三重県 政策企画部長 長崎 禎和 氏

17:00 閉会

目的と趣旨

地域の生活構造の変容から考える地域創生 ～人文社会科学の批判的かつ建設的視点～

近年、地域の生活構造は、人口減少、高齢化、自然災害の激甚化といった多くの課題に直面しています。これらの課題は、地域の持続性を脅かす一方で、地域が持つ本当の強みや、現代社会が地域におよぼす構造的な課題を浮き彫りにします。本シンポジウムでは、地域がどのように変容してきているのか、そしてそうした課題に地域に暮らす人々がどのように適応しているのかを考えることを通して、現代の地域社会が直面する課題を掘り下げ、地域社会の持つ多様な側面と強さについて考察します。

なぜ今、「課題に対する地域の適応」なのか

さまざまな課題に対して地域社会が見せる適応のプロセスには、地域社会がもつ強さと脆弱さの葛藤が見られます。人口減少や高齢化といった人口構造の変化や、医療や交通や買い物といった社会基盤の弱化的問題、そして地域の産業構造の変化といった、地域の市民生活を取り巻く社会構造の急速な変化は、地域社会の脆弱性を露呈しました。しかし同時に、地域は人々が住み生活する場であり、人々は地域での生活を維持しようと工夫しています。この地域の適応と変容の過程にこそ、地域社会の強さと可能性を見ることができると思います。

政府による地域創生は、地域の資源の発見と開発という方向性を提示します。多くの場合それは、地域の特産品や観光資源の開発、企業誘致による雇用の創出、そしてICT技術やドローン等の活用による技術革新の試みと解されています。しかし、地域の生活構造に合わない試みのほとんどは、社会実装に至らず失敗に終わっているのが現状です。

視点を逆転し、地域の適応と変容の力に地域の資源や可能性を見出し、それを促進するために新しい技術の導入と地域社会の再構築を議論する視点が必要だと思います。そのために社会構造そして生活構造を観察し考察すること、すなわち人文社会科学の批判的かつ建設的な知見が必要です。

本シンポジウムでは、こうした地域の適応プロセスに焦点を当て、そこから地域社会が持つ課題と強み、そして未来への示唆を考えたいと思います。地域に根ざし密着した地方国立大学法人に勤める私たちは、身近に地域に出かけて、そして時には地域に暮らす住人として、地域の生活構造の変容と適応の過程に関わってきました。そうした中で見て考えたことを踏まえて、現代の地域社会がどのような特性を持っているのか、そしていかにして持続可能な地域社会を築いていくべきかを議論したいと思います。

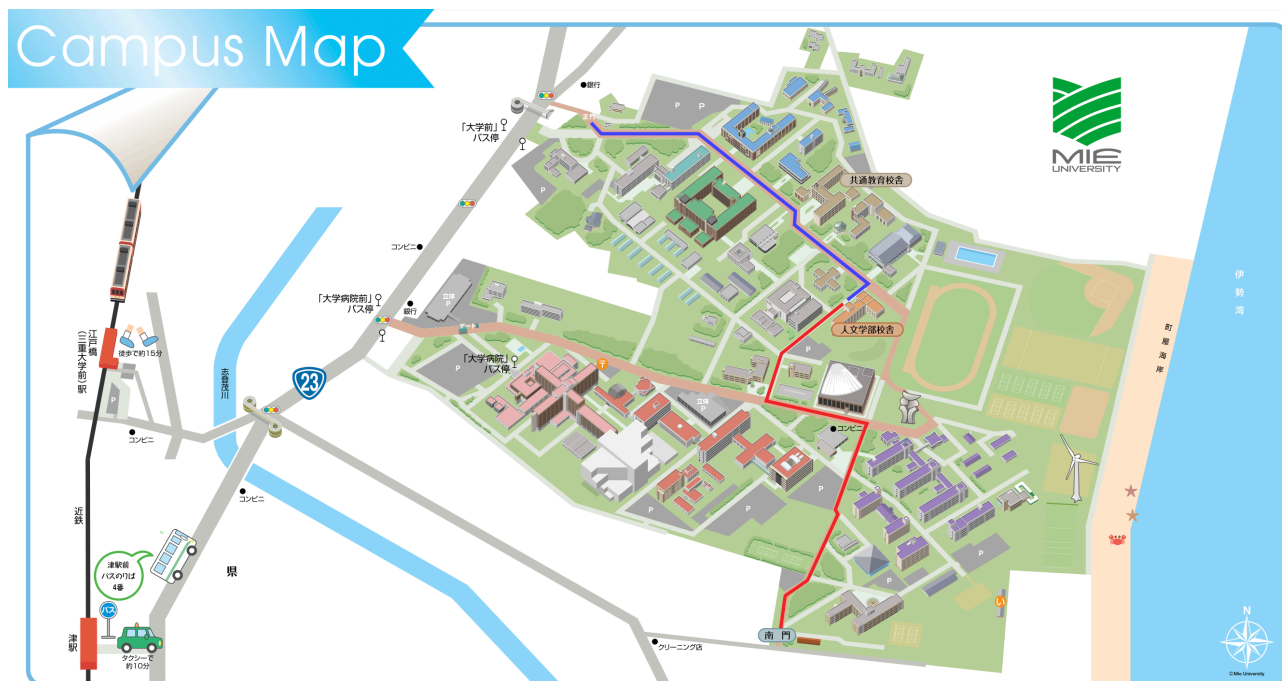
開催の目的

本シンポジウムは、課題に対する地域の適応プロセスを深く掘り下げることで、現代の地域の生活構造が直面している課題と、それを乗り越えるための可能性について議論することを目的とします。単に「成功例を追う」だけでなく、また単に課題に対して「悲観」するのではなく、適応の過程で生じる矛盾やひずみにも真摯に向き合うことで、より本質的な地域課題の解決に向けた方法論と論点を見出すことを目指したいと思います。

参加申し込みの方法

○ 開催日 2026 年 2 月 13 日（金） 12 時開場、13 時開会

○ 会場 三重大学 人文学校舎 3 階 大講義室



* 駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

○ 参加申し込み

- ① 資料の準備のため、右の QR コードより
事前申し込みをお願いします。

事前登録の締め切り ： 2026 年 1 月 30 日（金）



- ② オンライン参加について（行政職員、大学教職員、学生 限定）

大学教職員および学生、そして行政職員の方については、オンライン参加いただけます。

上記参加申し込み画面より、オンライン参加の手続きをしてください。

後日、オンライン参加のための zoom の ID をお知らせします。

○ お問い合わせ先

三重大学人文学法律経済学科

教授 深井 英喜 fukai@human.mie-u.ac.jp